公益社団法人日本産科婦人科学会

NIPT(新型出生前診断) 実施施設の改定案について意見公募

結果集計報告書

2019年3月25日

▶ 調査概要

実施期間 • 2019年3月2日(土)~3月24日(日) • 主にBabyプラスアプリのユーザーに対して 実施手法 Web画面でのアンケートを実施 • 6,869件 回答数

出生前検査、指針改定案ともに、実施に前向きな回答が過半数を占めている

Executive Summary

回答者 基本属性

- 性別は約9割が女性、年齢は20歳代と30歳代が多く約8.5割を占める
- 概ねほぼ人口比率通り、全都道府県から回答有り
- 約8割がBabyプラスアプリ利用者による回答

妊娠•出産 状況

- 妊娠初期・中期・後期・妊娠以外の方から偏りなく回答あり
- 初産婦の回答が過半数を占めている

出生前検査について

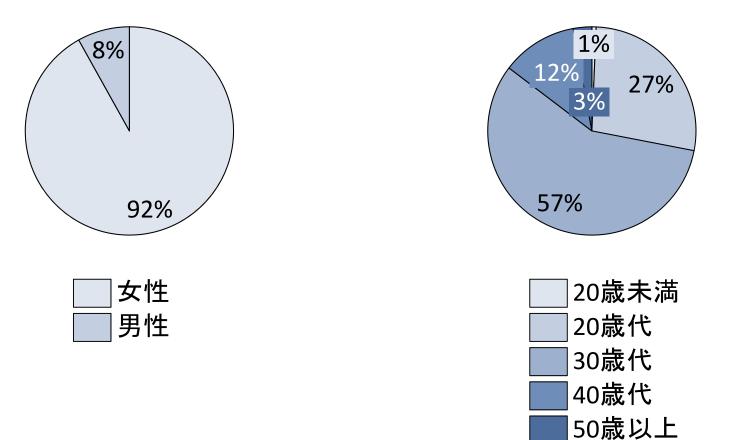
- 約9割の方が、日本で行うことに対して前向きな回答
- 約8割の方が「産婦人科の専門医」に相談したいと回答

指針改定案 __について

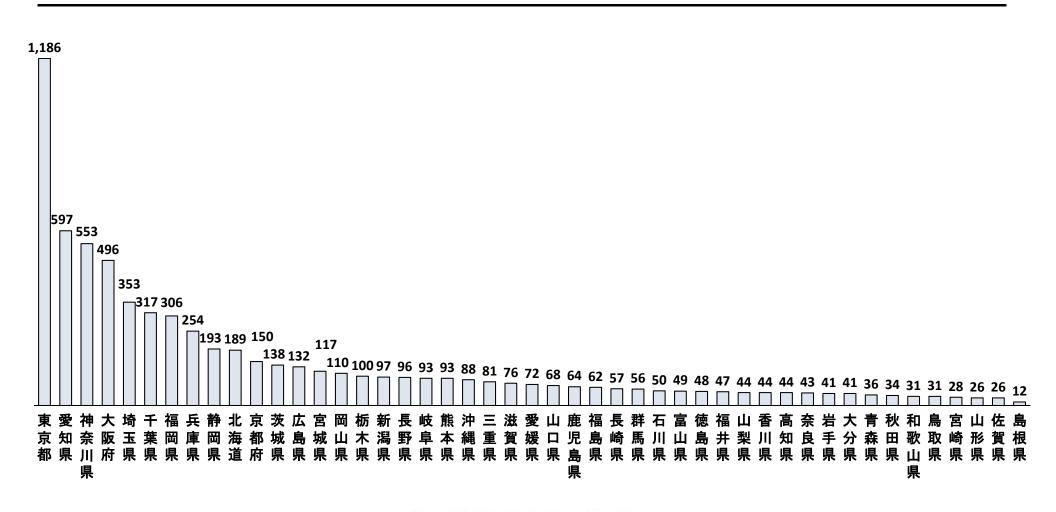
- 8割以上の方が対象施設を増やすことに対して前向きな回答
- 約7割の方が改定案に賛成、反対は全体の約5%

Q.あなたの性別は、

Q.あなたの年齢は、

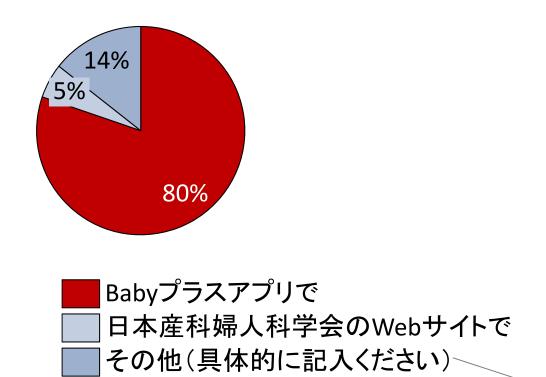


Q.あなたのお住いの都道府県は、



約8割がBabyプラスアプリ利用者による回答 その他のきっかけの中では、TwitterやFacebookなどSNSが一定広がり約1.5割となっている ▶ アンケートを知ったきっかけ

Q.どのようにこのアンケートを知りましたか?



その他内訳

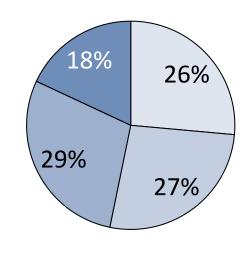
- Twitterで
- Facebookで
- Instagramで
- ・ 産婦人科医からの紹介で
- 知り合いから聞いて
- インターネットで検索して
- ニュースで見て

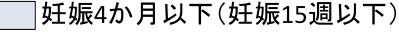
など

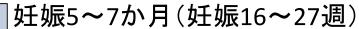
妊娠初期・中期・後期・妊娠以外の方から偏りなく回答あり 初産婦の回答が過半数を占めている

▶ 回答者(またはそのパートナー)の妊娠・出産状況

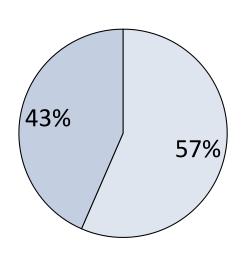
Q.あなた(またはあなたのパートナー)は 現在、妊娠中でしょうか? Q.あなた(またはあなたのパートナー)は お子様をご出産されたことがありますか?

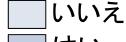






■妊娠中ではない







約9割の方が、日本で出生前検査を行うことに対して前向きな回答 ▶ 日本で出生前検査を行うことに対する考え

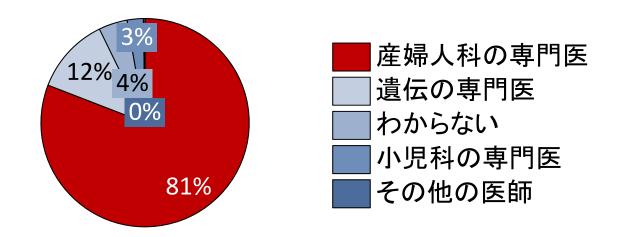
Q.このような詳しい遺伝情報を含む出生前検査は世界の先進国で広く行われています。 日本においてこのような検査を行うことに対するお考えを教えてください。



約8割の方が「産婦人科の専門医」に相談したいと回答

▶ 出生前検査についての最初の相談先

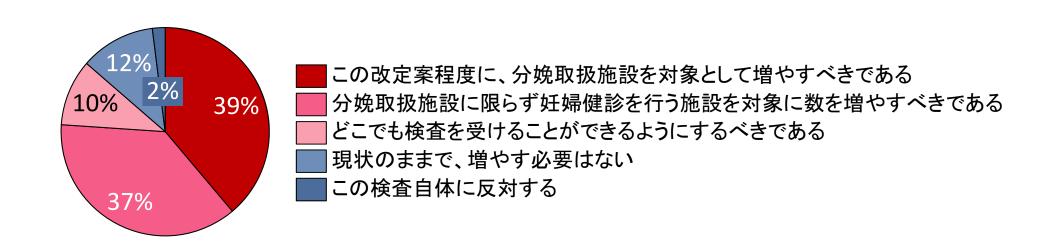
Q.このような詳しい遺伝情報を含む出生前検査についての最初の相談先として、 下記の中で誰が適当と考えますか?



8割以上の方が対象施設を増やすことに対して前向きな回答

▶ 出生前診断の検査を実施できる対象施設について

Q.今回の改定案では、この検査を実施できるのは分娩施設限定で考えています。 これは検査で問題が発見された場合、羊水検査や絨毛検査という専門的検査が 追加で必要なため、それが可能かつ妊娠経過を見守ることができる施設で 行う方が良いと考えるからです。このことに関して、

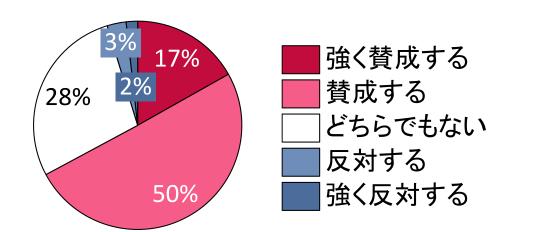


約7割の方が改定案に賛成、反対は全体の約5%

> 今回の指針改定案に対する賛否

Q.今回の指針改定案に、

Q.最後に、感じたことなどを ご自由にご記載ください。



別紙参照